

内航船舶輸送統計速報 (令和 7 年 1 月分)

1. 概況

総輸送量は、23,814 千トン（前年同月比 1.3%減）、12,047 百万トンキロ（前年同月比 0.4%減）であり、大型鋼船は 15,818 千トン（前年同月比 1.7%減）、8,921 百万トンキロ（前年同月比 0.5%減）、小型鋼船は 6,786 千トン（前年同月比 2.8%減）、2,907 百万トンキロ（前年同月比 0.4%減）であった。

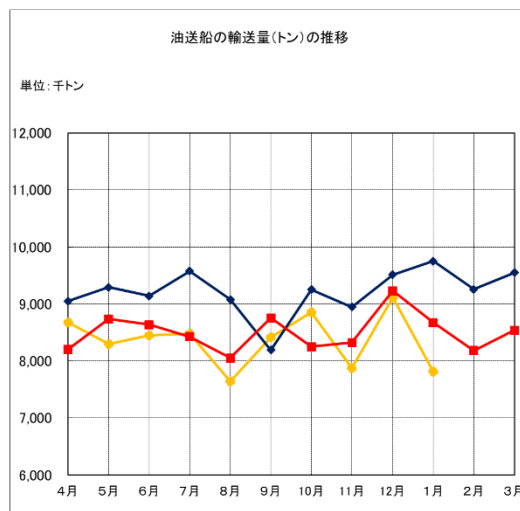
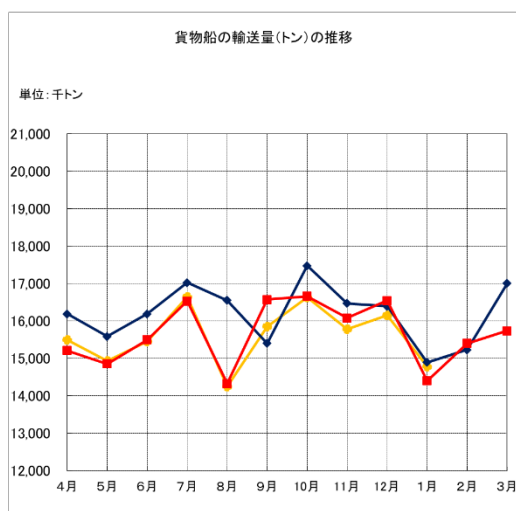
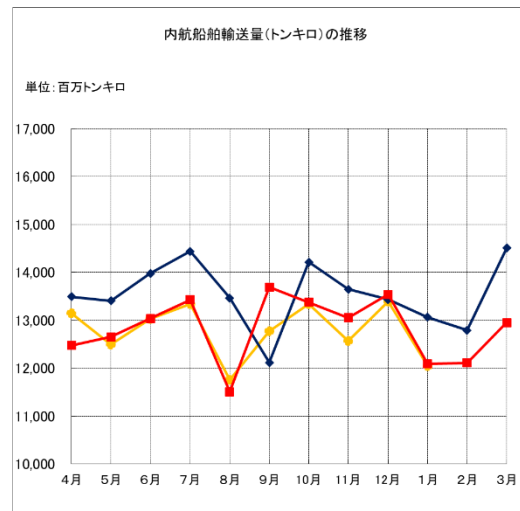
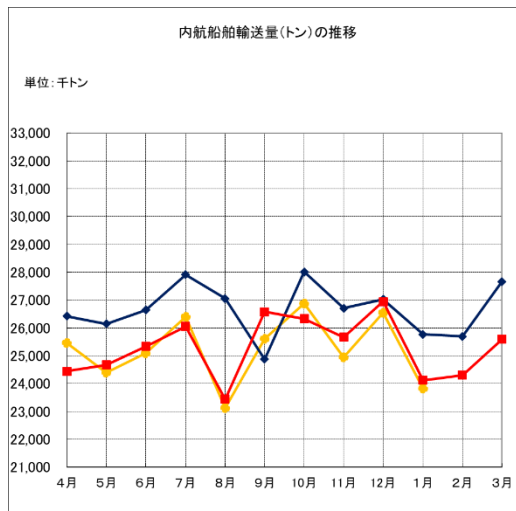
貨物船は 14,789 千トン（前年同月比 2.7%増）、7,796 百万トンキロ（前年同月比 4.9%増）であった。

油送船は 7,816 千トン（前年同月比 9.9%減）、4,033 百万トンキロ（前年同月比 9.5%減）であった。

プッシャーバージ・台船は 1,209 千トン（前年同月比 15.2%増）、219 百万トンキロ（前年同月比 6.6%増）であった。

2. 用途別輸送実績

項 目	トン数 (千トン)	前年同月比 (%)	トンキロ (千トンキロ)	前年同月比 (%)
合 計	23,814	98.7	12,047,401	99.6
大型鋼船	15,818	98.3	8,921,067	99.5
小型鋼船	6,786	97.2	2,907,438	99.6
プッシャーバージ・台船	1,209	115.2	218,897	106.6
貨 物 船	14,789	102.7	7,795,951	104.9
油 送 船	7,816	90.1	4,032,553	90.5
プッシャーバージ・台船	1,209	115.2	218,897	106.6



凡例：◆ 令和4年度（2022年度） ■ 令和5年度（2023年度） ● 令和6年度（2024年度）

本速報値の総輸送量は、「内航船舶輸送統計調査（基幹統計調査）」の調査対象事業者のうち、一定の期日までに提出のあった事業者の実績を用いて、過去半年分の当該事業者分と全体の輸送量の比率を以て推計した値である。また、全体の輸送量の内訳である用途別については、過去半年分の内訳の比率を用いて按分したものである。

そのため、「内航船舶輸送統計月報」における推計方法とは異なるので留意されたい。なお、確報値は、「内航船舶輸送統計月報」として追って公表する。

お問い合わせ先

国土交通省総合政策局情報政策課交通経済統計調査室

TEL：03-5253-8111（内線 28-748）

担当：染谷、木綿